

# **STAR**

## **フレールハーベスター**

### **取扱説明書・部品表**

製品コード	K43072
型式	MF H0920
部品供給型式	MF H0920-01

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

---

**スター農機株式会社**





# 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

#### 注意

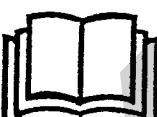


運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106172

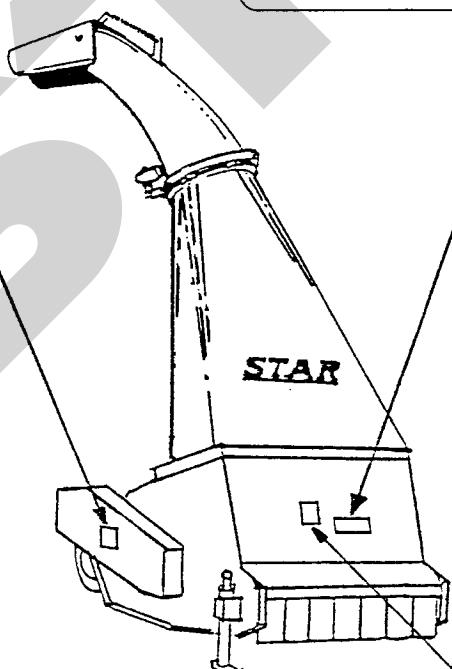
#### 注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、ぶつつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労気分、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするとときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貰うときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

部品番号 106164



#### 警告



運転中又は回転中、フレールカッタに接触すると、ケガをすることがあります。

手足を入れないで下さい。

部品番号 106482

## — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。  
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。  
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲注意

●機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。

取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲注意

●取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。

作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲警告

●体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲警告

●作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。

□帽子を着用する。

□はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

#### ▲警告

●機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲注意

●機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

#### ▲注意

●始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲警告

●エンジンを始動する時、自走4輪車の横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

●エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、自走4輪車が暴走し思わぬ事故を起こす事があります。

主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。

●P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。

P T Oを切ってから始動してください。

●エンジンを始動する時、作業機を下限まで降ろして行わないと、不意に降下または上昇して、周囲にいる人がケガをする事があります。

作業機を下限まで降ろして行ってください。

- 急発進すると運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。  
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

### 作業機を着脱する時は

#### ▲警告

- 自走4輪車のヒッチに、作業機を着脱する時に自走4輪車を移動させる時、自走4輪車と作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。  
自走4輪車と作業機の間に人を近づけないでください。

#### ▲注意

- 作業機を自走4輪車に着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、自走4輪車が不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- バッテリーからバッテリーケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行ってください。  
逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合、火花が生じ、火災事故の原因になります。

### パワージョイントを使用する時は

#### ▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
損傷したらすぐに取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。
- パワージョイントを作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。  
PTOを切り、自走4輪車のエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。  
自走4輪車側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

#### ▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。  
適正な重なり量で使用してください。

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。  
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

### 移動走行する時は

#### ▲危険

- 移動走行する時、自走4輪車のブレーキペダルが左右連結されていないと片ブレーキになり、自走4輪車が左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。  
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

#### ▲警告

- 自走4輪車に運転者以外の人を乗せると、自走4輪車から転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。  
自走4輪車には、運転者以外の人は乗せないでください。

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しそぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。  
低速走行してください。

- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくられるため、周囲の人に対するケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。  
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると、転落事故を起こす事があります。  
路肩は走行しないでください。

- 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、自走4輪車が転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。  
あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。

**▲注意**

- 公道を走行すると、道路運送車輌法に違反します。  
公道の走行はしないでください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。  
移動走行する時は、PTOを切ってください。

## 作業中は

### 作業する時は

**▲警告**

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをすることがあります。  
周囲に人を近づけないで下さい。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。  
指定速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。  
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。  
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。  
しっかりとハンドルを握って運転してください。

**▲注意**

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

### 自走4輪車から離れる時は

**▲警告**

- 自走4輪車から離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、自走4輪車が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で安定した場所に駐車し、自走4輪車のエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- 自走4輪車から離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不意に降下し、ケガをする事があります。  
下限まで降ろしてから自走4輪車を離れてください。

## 作業が終わったら

### 機体を清掃する時は

**▲注意**

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 終業点検をする時は

**▲注意**

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- ヒッチで、作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。  
自走4輪車ヒッチの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをする事があります。  
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。  
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、自走4輪車や作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事が確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。  
下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

# もくじ

## ▲ 安全に作業するためには

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

## 1 自走4輪車への装着

1 各部の名称	8	3 パワージョイントの装着	9
2 自走4輪車への装着	9	1. 安全カバーの脱着方法	10
1. 自走4輪車への装着	9	2. パワージョイントの連結	10
2. スイッチボックスの取付・配線	9		

## 2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	10
1. 連結部の点検	10
1) クイックピッチA, Bの 連結部点検	10
2) パワージョイントの点検	10

## 3 作業の仕方

1 本作業機の使用目的	10	2 作業のための調整	10
		1. 刈高さの調整	10
		2. シュートの振り量の調整	10

## 4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	11	2 長期格納する時	11
-----------	----	-----------	----

## 5 点検・整備について

1 点検整備一覧表	12	2 各部の調整	13
		1. ベルトの調整	13
		2. フレールカッタの研磨	13
		3. タイヤの空気圧	13

## 6 不調時の対応

1 不 調 处 置 一 覧 表 .... 14

## 7 部品表

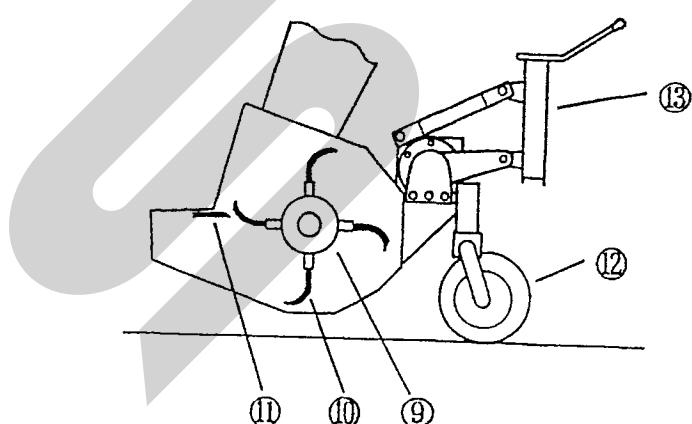
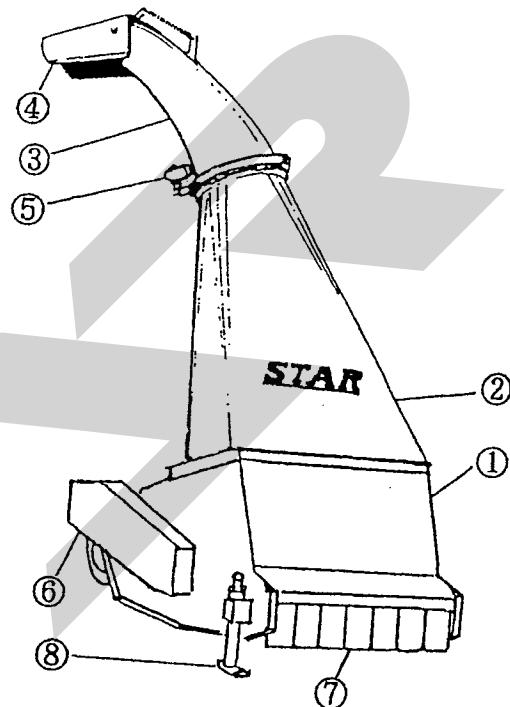
..... 15

# 1 自走4輪車への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

## 1 各部の名称

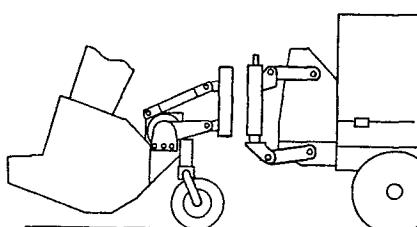
- ① ケーシング
- ② ダクト
- ③ シュート
- ④ ヘッド
- ⑤ シュート・ヘッドコントロール装置
- ⑥ ベルトカバー
- ⑦ エプロン
- ⑧ スタンド
- ⑨ ロータ
- ⑩ フレールカッタ
- ⑪ ナイフプレート
- ⑫ キャスター
- ⑬ ヒッチ



## 2 自走4輪車への装着

### 1. 自走4輪車への装着

- 1) 平坦なところで、作業機を水平に置き自走4輪車取り付け部のほぼ中心に合わせます。
- 2) 自走4輪車のリフトレバーでクイックヒッチBを下げ自走4輪車を前進させます。
- 3) クイックヒッチA（作業機側）とクイックヒッチB（自走4輪車側）上下合った所で自走4輪車を停止させます。
- 4) リフトレバーでクイックヒッチBを上げ自走4輪車と作業機をドッキングし、それからクイックヒッチレバーで固定します。
- 5) パワージョイント及びシート、ヘッド作動用コードを取り付けてください。  
完全にロックピンが噛み合っているか確認してから使用してください。



### 2. スイッチボックスの取付・配線

- 1) コード；1（電源コード）をバッテリータミナルへ取り付けます。  
コード；1（電源コード）のターミナルはトラクタのバッテリーコードのターミナルを止めているボルトと共に締めにしますのでバッテリーから（-）、（+）共にコードを外してください。  
コードを外すときは（-）側から外してください。  
トラクタのバッテリーコードのナットを外しコード；1（電源コード）のターミナルを取り付け、ナットを締め付けます。  
バッテリーターミナルへ取り付けるときは（+）側から取り付けてください。  
コードの極性は、白色が（+）、黒色が（-）です。

#### ▲ 注意

- バッテリーからバッテリーケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行ってください。  
逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合火花が生じ、火災事故の原因になります。

#### 取扱い上の注意

コード；1（電源コード）をバッテリータミナルへ取り付ける時の誤操作を防ぐためスイッチボックスに取り付けず、コード単体で行ってください。

- 2) スイッチボックスを自走4輪車の操作し易い場所に取り付けてください。  
スイッチボックスの取り付けは、磁石で行うので、できるだけ平らな面に取り付けてください。
- 3) コード；1のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- 4) 作業機側のヘッド・シート用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- 5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。

## 3 パワージョイントの装着

本作業機には、専用のパワージョイントが付いていますので、他のパワージョイントで代用しないでください。

#### ▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。  
損傷したらすぐに、取り替えてください。  
使用前には、損傷がないか点検してください。
- 自走4輪車及び作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。  
PTOを切り、自走4輪車のエンジンをとめてから行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。  
自走4輪車側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

#### ▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。  
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。  
適正な重なり量で使用してください。

## 1. 安全カバーの脱着方法

- 1) 安全カバーからチェーンを外してください。
- 2) 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
- 3) ヨーク側カバーをチューブ側に押すとヨーク側カバーが外れます。
- 4) チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
- 5) 新しい安全カバーを組み付けるときは逆の順で行ってください。

## 2. パワージョイントの連結

- 1) ピン付ヨークのクランプピンを押して、それぞれの軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

### ▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- 2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。

## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

### 1 運転前の点検

#### 1. 連結部の点検

- 1) クイックヒッチA, Bの連結部点検
  - ① ロックピンが掛かっているか。
  - ② 不具合が見つかった時は、「1-2-1 自走4輪車への装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

#### 2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取り付けに余分なたるみはないか。  
また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。  
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-3 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

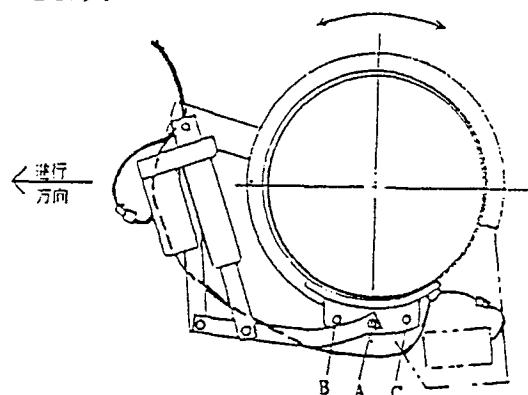
## 3. 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

### 1 本作業機の使用目的

牧草の刈取りに使用します。  
他の用途には使わないでください。

通常はAの位置にセットします。  
方向を変えたいときは、B又はCの位置にセットできます。



#### 1. 刈高さの調整

刈り高さの調整は車輪の上下で行ってください。  
高さ調節は20mmごとに5段階行えます。  
車輪を一番上げた状態で約60mmの刈り高さになります。

#### 2. シュートの振り量の調整

シュートの振り量はどのような作業にも十分満足できるようになっています。  
作業に合わせて図のように調節して下さい。

## 4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

### ▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。P T Oを切り、エンジンを止め、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

### 1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。  
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。  
又、破損部品がないか確認してください。  
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. P T O軸、P I C軸、ジョイントスライン部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

### 2 長期格納する時

1. 機体各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。  
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、P T O軸、P I C軸、パワージョイントのスライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しのよい屋内に保管してください。

## 5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。  
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

### 1 点検整備一覧表

#### ▲ 注意

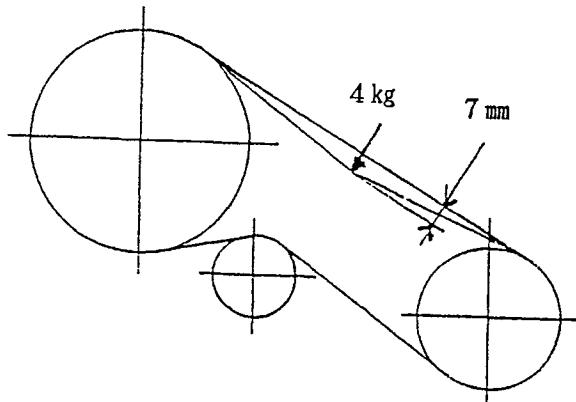
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。  
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。  
元通りに取り付けてください。

時 間	チ エ ッ ク 項 目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落、破損 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部の油もれ ⑤各部の油脂類 ⑥ナイフの摩耗 ⑦タイヤ空気圧	補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「1-2-2 紙油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーザン終了後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④回動支点等の摩耗 ⑤塗装の損傷	早めの部品交換  「1-2-2 紙油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

## 2 各 部 の 調 整

### 1. ベルトの調整

ベルトの張りは、図示寸法にテンションプーリーにより調整します。

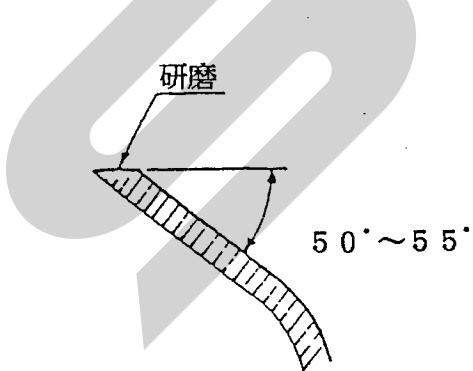


### 2. フレールカッタの研磨

#### ▲ 注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをすることがあります。  
保護メガネを着用してください。

- ① フレールカッタの調整はダクトを倒して行います。
- ② フレールカッタの切れ味が低下した時は研磨してください。  
フレールカッタの刃の角度は、図に示す程度にしてください。



- ③ フレールカッタが15mm以上摩耗すると回転のバランスが保てなくなります。  
この時は、フレールカッタを全数交換してください。
- ④ グラインダを使用して研磨するときは刃先の焼き入れが戻らないように注意してください。

## 3. タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空 気 圧
11×4.00-8-5-4PR	310KPa(3.2kgf/cm <sup>2</sup> )

## 6 不調時の対応

### ▲注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入りケガをすることがあります。  
保護メガネを着用してください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと自走4輪車や作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こすことがあります。  
平坦で地盤のかたいところで行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。  
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをすることがあります。  
下に入る時は、台などで降下防止を行ってください。
- 不調処置・点検・調整のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをすることがあります。  
元通りに取り付けてください。

### 1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ショット・ヘッド が動かない	① バッテリーとコントロールボックスの接続不良 ② ヒューズの切断 ③ コントロールボックスのスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+)、黒線(-) ヒューズを交換する。 スイッチを交換する。
切断物の飛び が悪い	① 供給量が多い ② 回転速度不足	走行速度を下げる。 適正回転速度にする。
馬力を喰う	① ナイフの摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製 品 名
2. 部品供給型式
3. 製 造 番 号
4. 故 障 内 容 (できるだけ詳しく)

# 7 部品表

## 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ①製品名
- ②部品供給型式（型式）
- ③部品名称（部品表を参照してください。）
- ④部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤個数（部品表を参照してください。）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「①付」を表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト	①2付
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)

〔〕 (メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット2個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

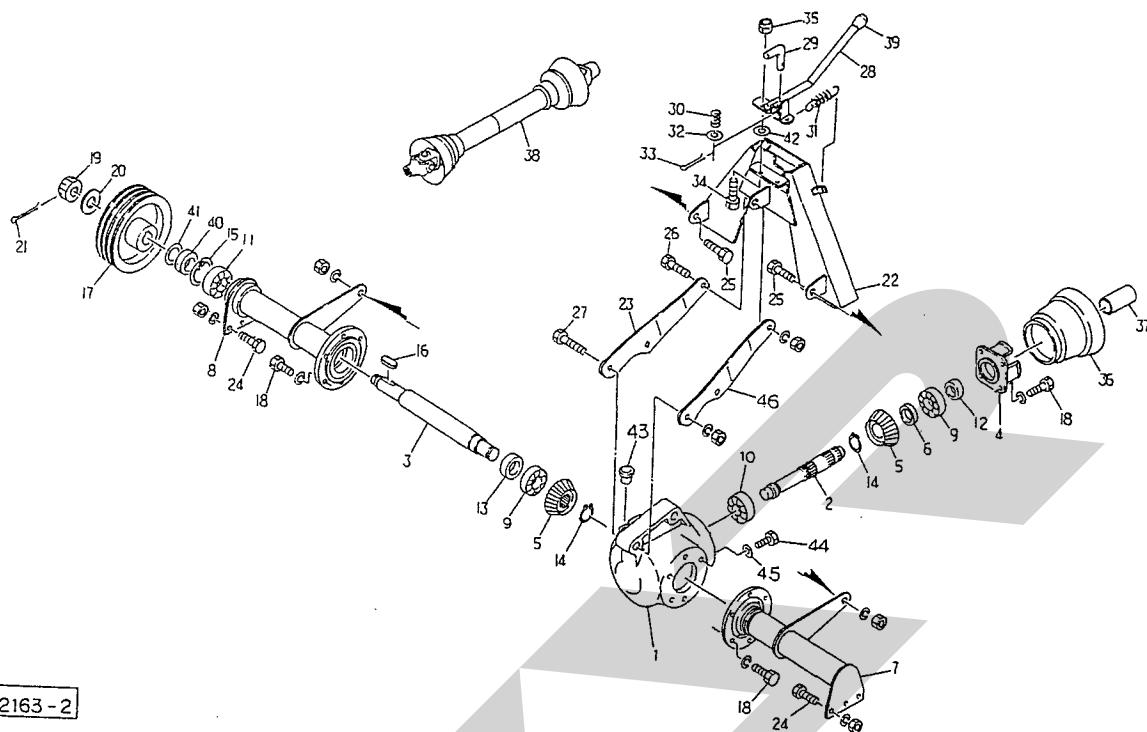
5. 個数欄の □、□は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

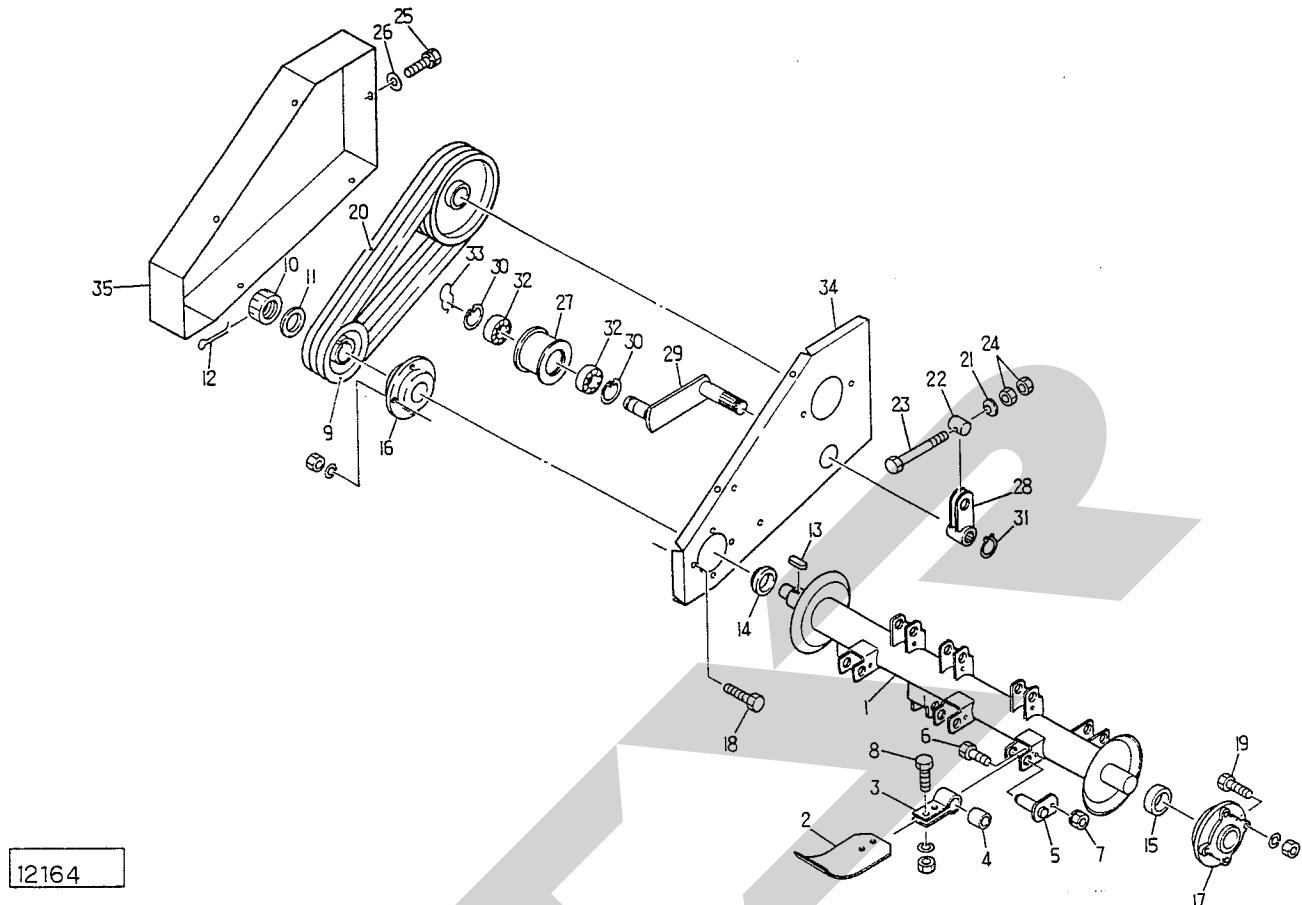
## 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

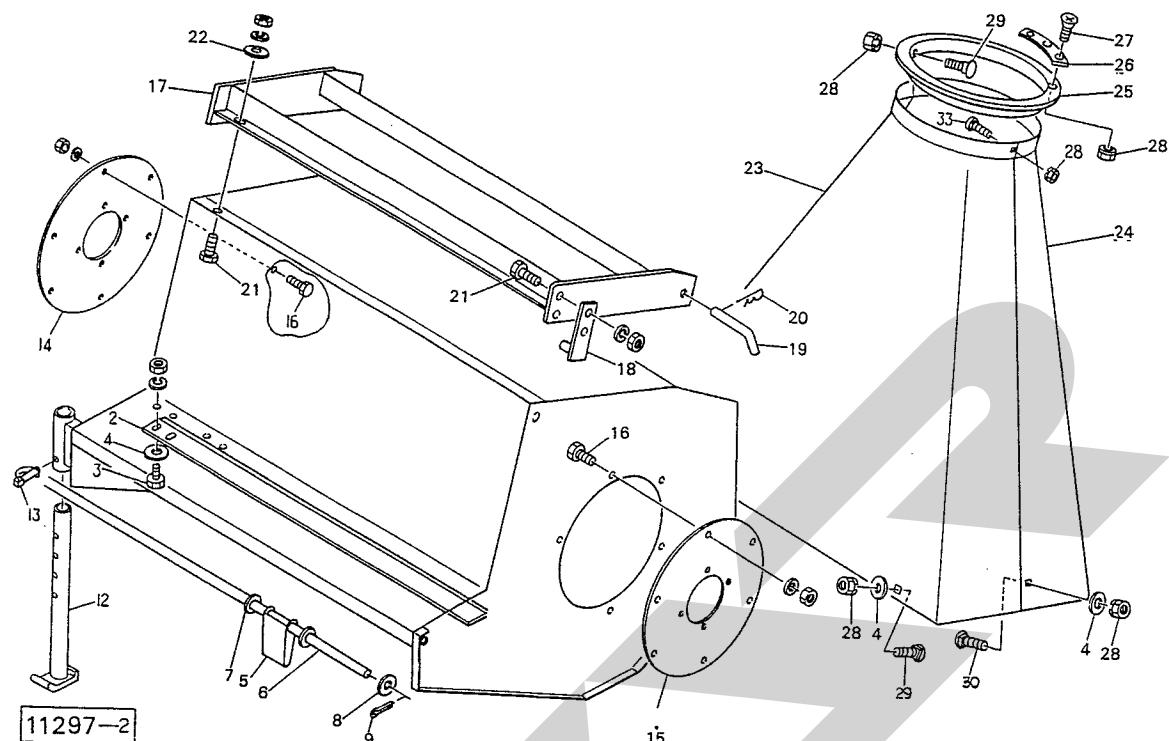
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。



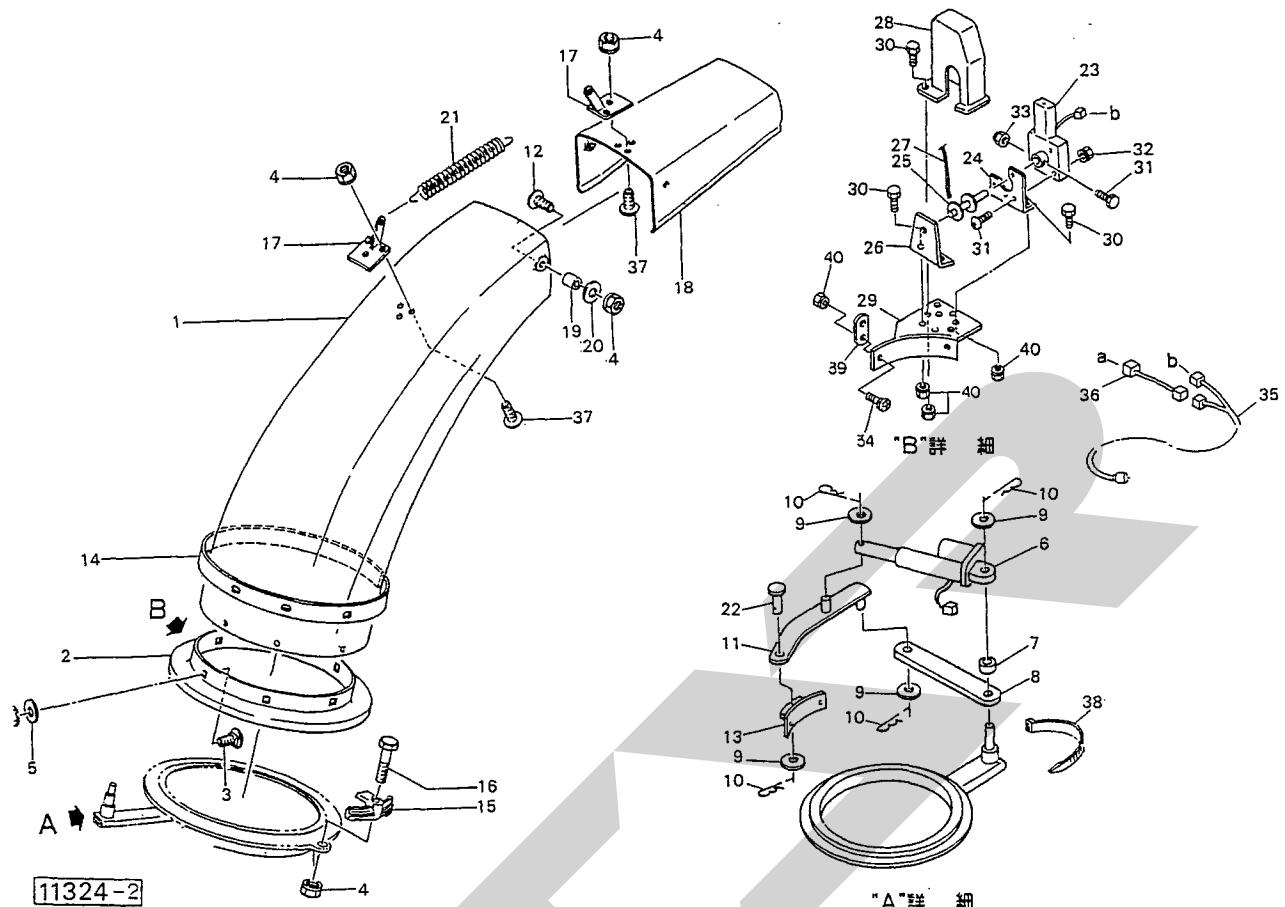
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	101672	ギャボックス	1	29	78926	レバートメピン	1
2	94512	シャフト; PIC	1	30	78927	バネ; 15.5×27	1
3	94513	シャフト	1	31	78928	バネ; 11.4×88	1
4	78229	キャップ	1	32	WRA12G	ワッシャ; M12	1
5	76751	マイタギヤ; M5×18T	2	33	PC3232G	ワリピン; 3.2×32	1
6	85084	カラー; 35.7×7	1	34	BZ1025G	ボルト; M10×25 (8.8)	1
7	94514	フレーム; R	1	35	NN10G	ナイロンナット; M10	1
8	94516	フレーム; L	1	36	63972	PICカバー	1
9	J6207	ベアリング; 6207	2	37	00096	PICキャップ	1
10	J6306	ベアリング; 6306	1	38	00611	ジョイント; SG-040	1
11	J6207LLU	ベアリング; 6207LLU	1	39	00687	ニギリ; 16	1
12	D35507	オイルシール; D35507	1	40	74719	カラー	1
13	D406210	オイルシール; D406210	1	41	65487	シム; 35×1.2	—
14	DC35	スナップリング; S35	2	42	WRA10G	ワッシャ; M10	1
15	DHC72	スナップリング; H72	1	43	00717	チューユセン	1
16	KFD10080500	キー; 10×8×50 (両平)	1	44	00338	プラグ; M10	1
17	74710	ブーリ; 9'-B-3	1	45	00339	パッキン(M10プラグ用)	1
18	BZ1030WG	ボルト; M10×30 (8.8)	16	46	103610	ステー; R	1
19	00712	キャッスルナット; M24×1.5	1				
20	WRA24G	ワッシャ; M24	1				
21	PC4032G	ワリピン; 4×32	1				
22	94517	クイックヒッチ	1				
23	103611	ステー; L	1				
24	BZ1430AG	ボルト; M14×30 (8.8)	6				
25	BZ1435AG	ボルト; M14×35 (8.8)	2				
26	BZ1440AG	ボルト; M14×40 (8.8)	1				
27	BZ1480AG	ボルト; M14×80 (8.8)	2				
28	78925	クイックヒッチレバー	1				



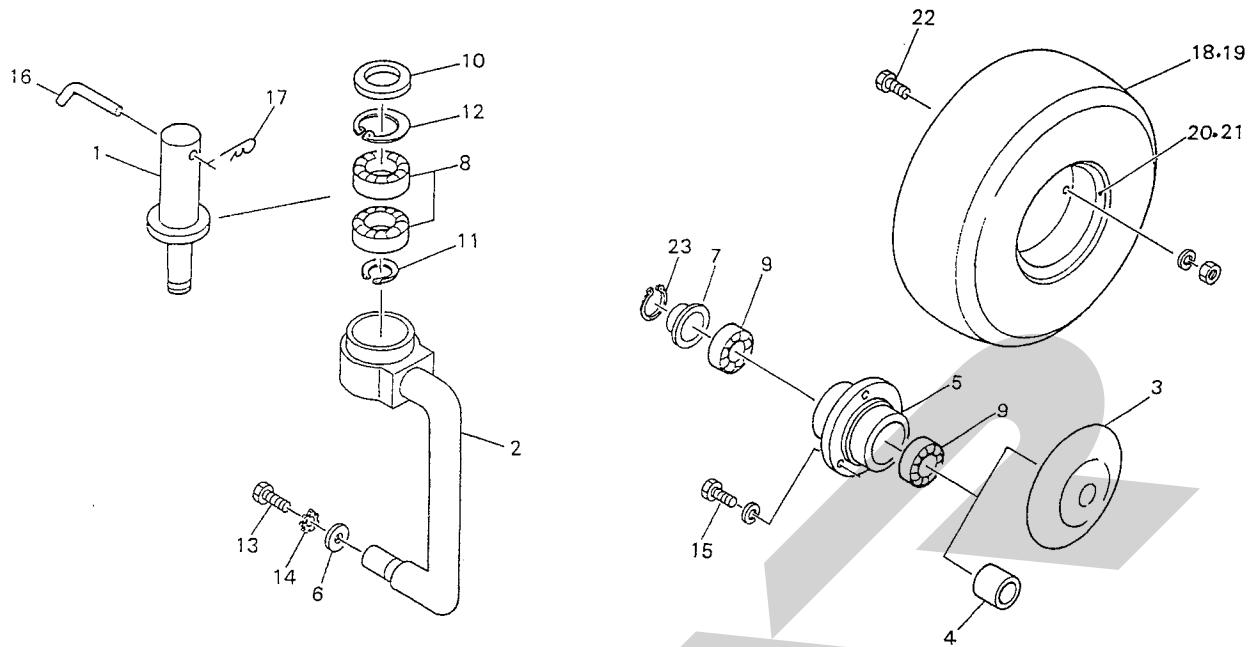
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	94526	ロータ	1	29	57344	テンションレバー	1
2	25285	フレールカッタ	12	30	DHC52	スナップリング；H52	2
3	59371	フレールホルダ	12	31	DC25	スナップリング；S25	1
4	59372	フレールブッシュ	12	32	J6205LL	ボールベアリング；6205LL	2
5	59373	フレールピン	12	33	56984	クリップ	1
6	BZ0825G	ボルト；M8×25(8.8)	12	34	94529	カバー	1
7	NP08G	スプリングナット；M8	12	35	94530	カバー	1
8	BZ1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	24				
9	74709	プーリ；Φ140-B-3	1				
10	00713	キャッスルナット；M30×1.5	1				
11	WRA30G	ワッシャ；M30	1				
12	PC5036G	ワリピン；5×36	1				
13	KFD20800400	キー；10×8×40 (両平)	1				
14	74711	カラー	1				
15	74712	カラー	1				
16	JASPF208	フランジユニット；ASPF208	1				
17	JSM-UCFC207	フランジユニット；SM-UCFC207	1				
18	BZ1225AG	ボルト；M12×25(8.8)	4				
19	BZ1425AG	ボルト；M12×45(8.8)	4				
20	VLB57	Vベルト；LB-57 (オレンジ)	3				
21	25266	キュウメンザガネ	1				
22	64335	ピン	1				
23	59355	ボルト；M12×170	1				
24	NZ12G	ナット；M12	2				
25	BP0820	スプリングボルト；M8×20	5				
26	44097	ワッシャ；M8	5				
27	94527	テンションプーリ	1				
28	94528	テンションアーム	1				



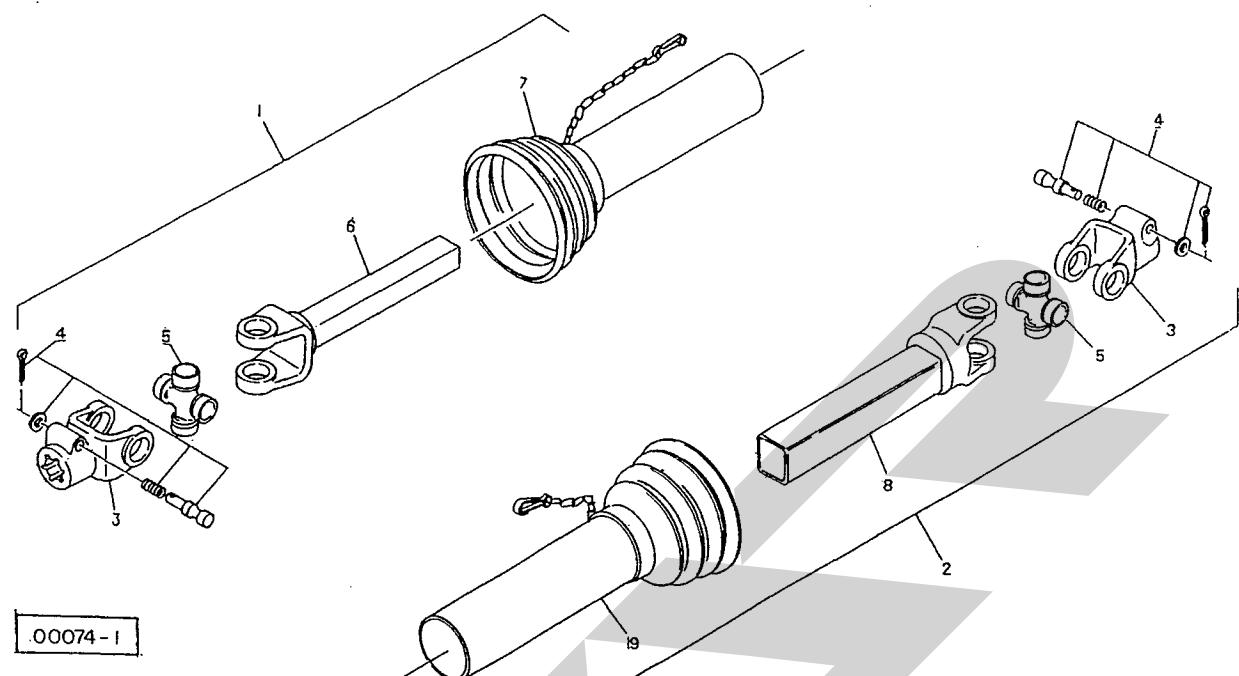
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
				29	55474	カクネボルト ; M8×20(8.8)	36
2	59609	ナイフプレート	1	30	55032	カクネボルト ; M8×15(8.8)	19
3	BZ0820AG	ボルト ; M8×20(8.8)	10				
4	44097	ワッシャ ; 8	55				
5	59614	エプロン	7	33	59483	カクネボルト ; M8×25(8.8)	2
6	59615	エプロンシャフト (見8・9付)	1				
7	61847	ワッシャ	9				
8	WRA16G	ワッシャ ; M16	2				
9	PC3232G	ワリピン ; 3.2×32	2				
12	74726	スタンド	1				
13	00453	デルタピン ; 9	1				
14	74706	フランジ ; L	1				
15	74707	フランジ ; R	1				
16	BZ1220AG	ボルト ; M12×20(8.8)	12				
17	74700	ダクトフレーム	1				
18	74701	ブラケット	2				
19	74702	ピン (見 20付)	2				
20	00085	ベータピン ; 8×1.6	2				
21	BZ1025AG	ボルト ; M10×25(8.8)	8				
22	44098	ワッシャ ; 10	4				
23	80070	ダクト ; L	1				
24	80071	ダクト ; R	1				
25	74699	フランジ	1				
26	59461	ライナー	4				
27	CM0825G	サラコネジ ; M8×25	12				
28	NP08G	スプリングナット ; M8	69				



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数	
1	76193	シュー	1	29	76196	ブラケット	1	
2	59482	フランジ	1	30	BZ0820G	ボルト; M8×20(8.8)	6	
3	59483	カクネボルト; M8×25(8.8)	5	31	CP0625G	ナベコネジ; M6×25	4	
4	NP08G	スプリングナット; M8	20	32	NP06G	スプリングナット; M6	3	
5	WRA08G	ワッシャ; M8	2	33	NN06G	ナイロンナット; M6	1	
6	74670	デンドウシリンド	1	34	BRZ0830	カクネボルト; M8×30	1	
7	74747	カラー	1	35	95493	コード	1	
8	74746	プレート	1	36	76448	アダプタコード	1	
9	42783	ワッシャ; 12	4	37	CP0820G	ナベコネジ; M8×20	6	
10	00085	ベータピン; 8×1.6	4	38	ILT50R	インシュロック; T50R	2	
11	76195	ステー	(見 9・10付)	1	39	75369	バー	1
12	CP0830G	ナベコネジ; M8×30	2	40	NP08G	スプリングナット; M8	6	
13	62189	ホルダ	1					
14	64505	リング	1					
15	59497	ホルダ	6					
16	BZ0845G	ボルト; M8×45(8.8)	6					
17	59502	サポート	2					
18	76194	ヘッド	1					
19	55555	カラー	2					
20	44097	ワッシャ; 8	2					
21	59504	スプリング	1					
22	00061	アタマツキピン; 12×30 (見 10付)	1					
23	70351	パワーウィンドモータ	1					
24	70347	ブラケット	1					
25	72942	ブーリ	1					
26	74944	アングル	1					
27	74749	ロープ; 4.5×1300	1					
28	70343	カバー	1					



11299-1



本 社	066	千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽 4 条 9 丁目 3 番 31 号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ 11 9 1 番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西 22 条 北 1 丁目 12 番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市 小泉 3 0 2 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町 2 丁目 16 番 2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割 3 3 3 - 1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前 2 丁目 4 番 27 号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市 梁 2 5 1 2 - 1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷 191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野 7 0 4 - 1 0 3 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町 2 2 5 5 - 4 2 9 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町 3 5 3 7 - 1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644